

5年生の様子

5年 担任 金子 善江

この4月、赴任して感じた小池小学校のこどもたちの印象は、「とても思いやりのある、笑顔の素敵なこどもたちだなあ。」ということでした。1学期には、移動教室、学習発表会と、大きな行事が2つもありました。伊豆学園高原移動教室は、以前のように学年全員で2泊3日過ごしました。「大室山から見た景色がすごかった。」「ハイキングが大変だった。」「キャンドルファイヤー楽しかった。」と、心に残る3日間だったようです。また、家を離れて過ごした時間は、家族の大切さやありがたさに気付いた時間でもあったようです。学習発表会では、移動教室の3日間の様子をクラスごとに趣向を凝らして発表しました。相手に分かりやすく伝える方法や、伝えたいことを時間内に収める工夫など、クラスで話し合っ、試行錯誤を繰り返、みんなで協力して取り組みました。この二つの行事を通して、一人一人が大きく成長したことを感じる事ができました。

さて、2学期には運動会があります。沖縄の伝統的な踊りであるエイサーに取り組んでいます。日頃から体を動かすことが好きな5年生ですが、それまでの練習では、苦勞することもあるかもしれません。でも、仲間意識が強いこどもたちなので、「頑張ろうよ。」「絶対できるよ。」「大丈夫だよ。」と優しく声を掛け合いながら、頑張ることと思います。運動会当日、晴れ渡る青空の下、太鼓の音を一条乱れず響かせて笑顔で踊るこどもたちの様子が目に浮かびます。

スピーチ大会

学力向上担当 内藤 陽徳

小池小学校のスピーチ大会も、今年度は既に2回行いました。話すこと・聞くことに興味をもち、主体的に話したり、聞いたりする態度を養うことがねらいです。

各学年で設定したテーマに沿って、国語科の学習を通して、児童一人一人がスピーチ原稿を書きます。その作文をもとに、教室でも学級ごとのスピーチ大会を行います。全ての児童がスピーチを行うことにより、話す力、聞く力が身に付いていきます。学級で代表児童を決め、代表児童はさらに練習を重ねて、全校児童の前で、スピーチを行います。今年度からは、体育館で全校児童を前にしての発表に戻りました。

全校でのスピーチ大会では、発表をする児童の真剣さはもちろんですが、そのスピーチを誰よりも真剣に聞いている児童がいます。それは感想を発表する児童です。6年生の代表が、スピーチ発表者への感想を伝えます。その場で感想を言うのは、とても難しいことですが、メモを活用しながら、感想や励ましの言葉を伝えています。発表する児童には、緊張しながらも、大勢の前で自らの思いを発表する経験を通して自信を付けてほしいと思います。そして、それを真剣に聞き、多様な考え方に触れることで、成長する機会になることを期待しています。